



MESSAGE NOTES

神の家族とひとつになる

ローマ人への手紙 12:4-5

ブラウン・ジェームズ

一つのからだには多くの器官があり、しかも、すべての器官が同じ働きをしてはいないように、大勢いる私たちも、キリストにあって一つのからだであり、一人ひとり互いに器官なのです。

1. とともに強くなる

聖書は、教会の家族をキリストの体として例えています。肉体と切り離された体のどの部分も生き延びることができないように、私たちもクリスチャンとして一人で生きていくことは不可能です。私たちは皆、教会の家族の一員であることから得られる励まし合いや強め合いを必要としています。

2. 皆が必要

教会の家族の中で取るに足らない人は誰もいません。私たちは皆、それぞれに果たすべき固有の役目と目的を持っています。目は耳の役割を果たすことができず、口は鼻の役割を果たすことができません。家族や友人に神の愛を示すことができるのはあなただけです。職場にイエス様の光をもたらすことができるのはあなただけです。誰もが重要であり、誰もが必要とされています。

3. 兄弟姉妹

ヘブル人への手紙 2:11 聖とする方も、聖とされる者たちも、みな一人の方から出ています。それゆえ、イエスは彼らを兄弟と呼ぶことを恥としません。

イエス様が私たちを兄弟姉妹として受け入れてくださるのですから、私たちもお互いを家族として受け入れ、家族として扱うべきです。平和な人間関係のためにすべてのことに同意する必要はありません。しかし私たちの一致は、神のいつくしみと神の愛の最大の証です。神様は私たちの父として、私たちが互いに愛し合い、兄弟姉妹として接することを望んでおられます。